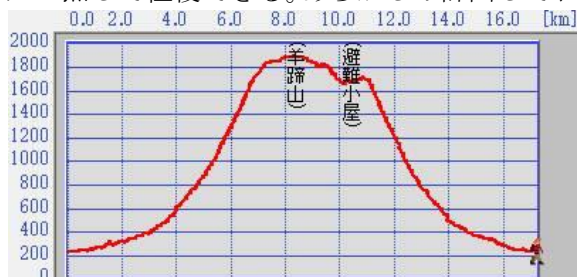


北海道：後方羊蹄山

- ◆日程 2022年7月22日(金)
- ◆メンバー L:OT
- ◆天候 曇時々雨

大雪山から十勝岳への縦走を終えた後、折角遠征した北海道から素直に帰るのは忍びない。後方羊蹄山(しりべしやま)(=マッカリヌプリ、羊蹄山、蝦夷富士)なら札幌を拠点にレンタカー無しで往復できる。あらかじめ計画しておき、縦走終了時点で実行を判断することにした。



札幌から電車とバスを乗り継ぎ登山口近くのバス停まで3時間弱。前方にあるはずの後方羊蹄山は雲に覆われている。午後には雨が降る予報なのでなるべく早く登頂しておきたい。

後方羊蹄山は富士山のような均整の取れた成層火山だ。初めは緩やかだが次第に傾斜が急

になる。四合目で雨が降り出した。予報より早いじゃないかと思いつつレインコートを取り出したところで、ブーンという羽音。黒と黄色の縞模様的大型昆虫だ。「スズメバチか!」と思った瞬間、右肩下に止まられた。そっと振り払い急いでレインコートを羽織って急ぎ足で移動。ブンブン周りを飛びながらしつこく付きまとう。息も絶え絶えに5合目まで一気に登った頃には姿が見えなくなり、雨も上がった。暫くするとまた現れて追いかけてくる。急いで逃げる。ハイマツ帯に出るまで5回ばかり繰り返した。火口外周に上がると火口が見下ろせる。きれいな形をしている。半周程お鉢巡りをすれば山頂だ。岩稜歩きに変わったところで、シマリスに何度も出くわした。下の方でも出くわしたが、この辺りのシマリスはどこかのんびりしている。鳴き声を発しながらこちらを窺う余裕すら見せる。人間相手ならいつでも岩の隙間に逃げ込める自信があるのだろう。お鉢を一周するか避難小屋を経由して下山するか迷っているうちに山頂をガスが覆い始める。迷わず避難小屋に向かう。管理人さんにスズメバチの件を話すとそれはスズメバチではなく「アカウシアブ」という最大の吸血アブで、この辺に多いのだという。どっちにしても嫌な相手だ。避難小屋を後にするとまたもや雨、本降りだ。スリッパに気を付けながらバス停に到着したのは17時。雨は上がっている。高低差1660mは空荷とは言えなかなか厳しいコースだった。コースタイム約10時間のところ8時間弱で下山できたのは巨大アブに追いかけられたお陰と言えよう。(記:OT)



CT:羊蹄登山口バス停 9:20 - 比羅夫登山口 9:45 - 九合目 12:30 - 山頂 13:20/13:30 - 避難屋 14:30 - 羊蹄登山口バス停 17:00

